

ICOM

取扱説明書

防災行政無線戸別受信機

IC-RDV60

IC-RDV60S

このたびは、本製品をご導入いただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、全国瞬時警報システム(J-ALERT)による緊急放送や260MHz帯防災行政無線の放送を各家庭で受信するための防災行政無線戸別受信機です。
ご使用の前に、本書、および別紙の操作ガイドをよくお読みいただき、お読みになったあとは、いつでも読める場所に保管してください。

ご注意

◎別紙の操作ガイドと併せてご覧ください。

◎設置場所を変更したときは、お住まいの地域の定時放送などで、良好な受信ができることを確認してください。

◎防水構造ではありませんので、ぬれない場所でご使用ください。

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。
AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。
本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。
本製品に内蔵している緊急地震速報のチャイム音は、NHKの著作物であり、著作権その他の権利はすべてNHKに帰属します。
仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。
本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社	高品質がテーマです。
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32	A7568D-1J-1 Printed in Japan
202103	© 2020– 2021 Icom Inc.

音声圧縮(符号化)方式について

本製品は、米国DVS社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,595,002, #8,359,197, #8,315,860, #8,200,497, #7,970,606 and #6,912,495 B2.

安全上のご注意

- ◎ 使用者、および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- ◎ 次の「△ 警告」、「△ 注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△ 注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- △ 警告
- ◎ 下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。

● 付属のACアダプター以外は、使用しないでください。

● 指定以外の端子にACアダプターを接続しないでください。

● 指定以外の付属品、および別売品は使用しないでください。

● ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

● ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。

● 分解、改造は、絶対にしないでください。また、ご自分で修理しないでください。

● 水などでぬれやすい場所(屋外や加湿器のそばなど)に設置しないでください。

◎ めれた手で電源プラグや機器に絶対に触れないでください。

感電の原因になります。

◎ アンテナの先端が、目や鼻など傷つきやすい部位に当たらない場所で設置、使用してください。

失明など、けがの原因になります。

◎ 電源ケーブルや接続ケーブルは、赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で設置、使用してください。

火災、感電の原因になります。

◎ 電子レンジや高圧釜などに入れたり、電磁調理器の上に置いたりしないでください。

破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。

◎ アンテナやショルダーストラップを持って振り回したり、投げたりしないでください。

本人や他人に当たって、けがや故障、および破損の原因になります。

◎ スピーカーに耳を近づけたり、イヤホンで聴いたりしないでください。

緊急/防災放送などで最大音量になると、耳に障害を与える原因になります。

また、イヤホンを接続すると、破損の原因にもなります。

◎ 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。

そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

すぐに、本製品に接続している AC アダプターと乾電池を取りはずしてください。

煙が出なくなるのを確認してから、お住まいの自治体にお問い合わせください。
- △ 注意
- ◎ 直射日光の当たる場所や空調機器の吹き出し口など、温度変化の激しい場所には設置しないでください。

変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎ 製品の上に乗ったり、落としたり、強い衝撃を与えたり、重いものを載せたりしないでください

けがや故障の原因になることがあります。

◎ 振動が多い場所、ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりして、火災、けが、故障の原因となることがあります。

◎ 温度差の激しい環境へ急に持ち出して結露したときは、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。

内部や外部に水滴がつき、変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。

◎ 強い磁界や静電気の発生する場所、－10℃～+50℃以外の環境では使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

◎ アンテナを引っ張ったり、ねじったりしないでください。

変形や破損の原因になることがあります。

◎ 湿気やホコリの多い場所、風通しの悪い場所には設置しないでください。

また、ほかの製品と重ねて置かないでください。

火災、故障の原因になることがあります。

◎ 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。

ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。

ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含めたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- 本製品のおもな特長
- ◎ 消防庁が推奨する戸別受信機の仕様ガイドラインに準拠しています。

◎ 操作したときや電池の交換時期になると、音声ガイドで知らせします。

◎ 停電時は、自動的に乾電池(単1形/単3形)で動作し、ライトが点灯します。

◎ 停電時、乾電池が消耗したときなど、USB(microB)タイプのモバイルバッテリーで代用できます。

※お使いになるモバイルバッテリーによっては、受信音にノイズが混じることがあります。

◎ 緊急/防災放送時、自動録音や留守録音機能により聴き逃しを防止できます。

◎ 平常時、再生キーを押すと、録音内容を再生できます。

◎ 各種別売品(屋外アンテナ、外部スピーカー、外部表示器)が接続できます。

◎ IC-RDV60では、ラジオ放送(AM/FM(ワイドFMを含む))が受信できます。

AMラジオは内蔵のバーアンテナで受信、FMラジオは付属のアンテナで受信できます。
- 正しくご使用いただくために
- ◎ 設置場所を変更したときは、お住まいの地域の定時放送などで、良好な受信ができることを確認してください。

◎ 本製品は、防水構造ではありませんので、雨水などでぬれない場所でご使用ください。

◎ 放送がない状態でも緊急/防災放送を待ち受け動作していますので、待機電力を消費しています。したがって、乾電池だけで使用すると、停電時などの緊急時に乾電池が消耗して使用できない場合があります。

ふだんから付属のACアダプター(外部電源)を接続してご使用ください。

◎ 本製品に接続したACアダプターやモバイルバッテリーで給電しても、乾電池は充電できません。

◎ テレビなど、ほかの家電製品と同じコンセントから電源を取らないでください。

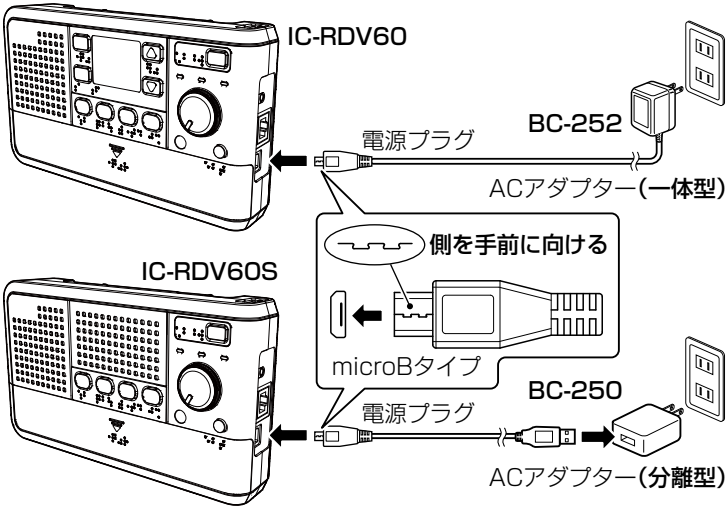
◎ テレビやラジオなどの家電製品、パソコン、および電話機などの近くで使用すると、雑音が発生したり、誤動作したりすることがありますので、はなしてご使用ください。

◎ 長期間不在にされるときなど、長期間使用しないときは、コンセントからACアダプターを取りはずし、乾電池を取り出してください。
- 付属品
- | | |
|-------------------|---------------------|
| □ ACアダプター…………… 1 | □ ショルダーストラップ …… 1 |
| □ 卓上用台座 …………… 1 | □ 壁かけ用台座(ネジ4本含む)… 1 |
| □ 乾電池変換アダプター …… 2 | □ 取扱説明書(本書) …………… 1 |
| □ 操作ガイド(別紙) …… 1 | □ アンテナ …………… 1 |
| □ クッションシート …… 1 | |
- ※乾電池は付属していませんので、日本メーカー製の単1形アルカリ乾電池(2本)、または単3形アルカリ乾電池(6本)をご用意ください。
- 別売品
- | | |
|------------|--|
| AH-RDV60 | 屋外アンテナ |
| ICRS-SP35L | 外部スピーカー(5W/8Ω、ケーブル長:約3m) |
| LD-60 | 外部表示器 |
| BC-250 | ACアダプター(IC-RDV60S用、USBケーブル付属)
※USBケーブルは、通信に使用できません。(電源供給専用) |
| BC-252 | ACアダプター(IC-RDV60用) |
- 日常のお手入れについて
- 汚れたときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。
ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。
ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。
- 各部の名称と機能
-
- | | |
|--------------|--|
| ①スピーカー | 音声ガイドと受信音を出力します。 |
| ②電池カバー | 乾電池を交換するとき、開閉します。 |
| ③[再生/次へ]キー | 録音された緊急/防災放送を最新の内容から順に再生します。
※再生中に押すと、次の内容を再生します。 |
| ④[停止]キー | 再生を停止します。 |
| ⑤[戻る]キー | 1つ前の再生内容で停止、または先頭に戻して再生します。 |
| ⑥[録音]キー | 留守録音の設定、または解除をします。
※チャイムやメロディー、サイレンは、録音されません。
※緊急/防災放送受信中は、録音を継続します。 |
| ⑦ライト | [点灯/消灯]キーでライトが点灯、または消灯します。
※乾電池動作に切り替わったとき、または緊急/防災放送受信時に自動点灯します。(3分後に自動消灯) |
| ⑧[点灯/消灯]キー | ライトを手動で点灯、または消灯します。 |
| ⑨[音量]ダイヤル | 音声ガイドと受信音の音量が変化します。 |
| ⑩録音ランプ | 橙点灯: 緊急/防災放送録音中 緑点灯: 留守録音設定中
緑点滅: 未再生の内容がある状態 |
| ⑪乾電池残量ランプ | 消灯 : 外部電源で動作中の状態
緑点灯: 乾電池で動作中、残量が十分な状態
赤点滅: 乾電池で動作中、電池交換が必要な状態 |
| ⑫AC電源ランプ | 緑点灯: 外部電源で動作中の状態
緑点滅: 緊急/防災放送の受信電波が弱い状態
消灯 : 乾電池で動作中の状態 |
| ⑬[緊急解除]キー | 緊急/防災放送受信中に、緊急放送ランプとライトを消灯して、通常の音量に戻します。 |
| ⑭緊急放送ランプ | 赤点滅: 緊急/防災放送受信時
※受信後、[緊急解除]キーを押さない場合、5秒ごとに点滅します。 |
| ⑮[△]/[▽]キー | AM/FMラジオの選局をします。 |
| ⑯表示部 | 緊急/防災放送やキー操作に応じた内容を表示します。 |
| ⑰[ラジオ 入/切]キー | ラジオの電源を「入」/「切」します。 |
| ⑱[AM/FM]キー | AM放送とFM放送を切り替えます。 |
- 側面/後面部
-
- | | |
|------------|---|
| ①アンテナ | 防災放送の電波を受信します。
※IC-RDV60では、FM放送の受信にも使用します。 |
| ②ストラップ挿入溝 | ショルダーストラップを通す溝です。(2カ所) |
| ③音声出力 | 外部スピーカー(別売品:ICRS-SP35L)を接続するジャックです。
※内蔵スピーカーからも出力されます。 |
| ④外部出力 | 外部表示器(別売品:LD-60)などを接続するポートです。 |
| ⑤DC-IN/USB | 付属のACアダプター(外部電源)を接続するジャックです。 |
| ⑥アンテナホルダー | 屋外アンテナ接続時、付属のアンテナを収納します。 |
| ⑦台座ガイド | 本製品を壁かけ用台座に固定するガイドです。 |
| ⑧内蔵アンテナ | AM放送受信用のアンテナを内蔵する部分です。 |

外部電源の接続

下図のように、**電源プラグ先端**の側を手前に向けて、[DC-IN/USB]ジャックに差し込んでから、ACアダプターをコンセントに差し込みます。

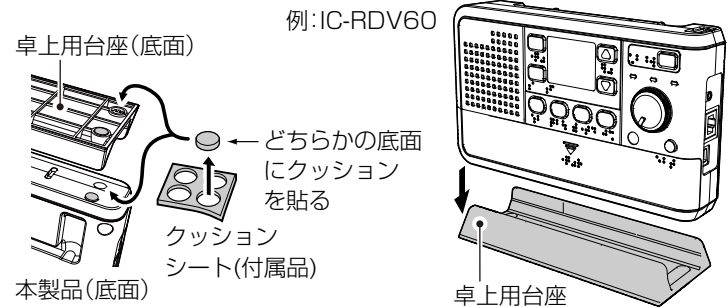
△警告
電源プラグを[DC-IN/USB]ジャックに接続するときは、先端の形状を確認してから接続してください。
無理に押し込むと、ジャックを破損する原因になります。



※緊急時の持ち出しや乾電池を交換するとき以外は、電源プラグを取りはずさないでください。

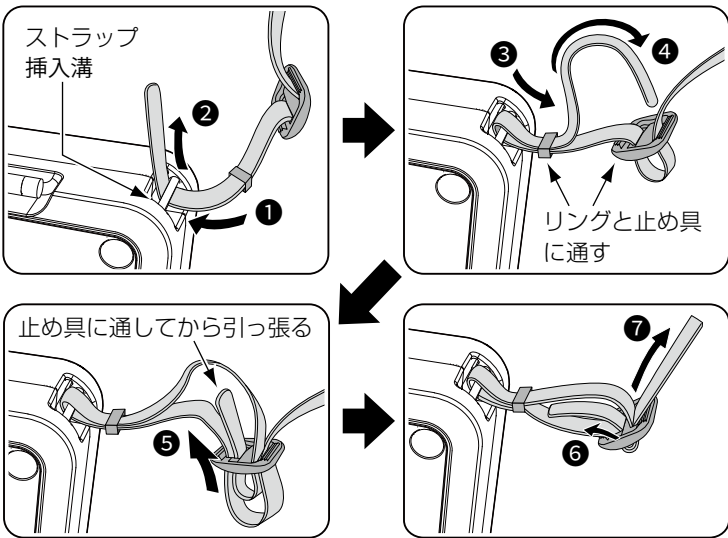
卓上用台座の使いかた

卓上用台座を使用しない場合は、本製品の底面に貼ってご使用ください。



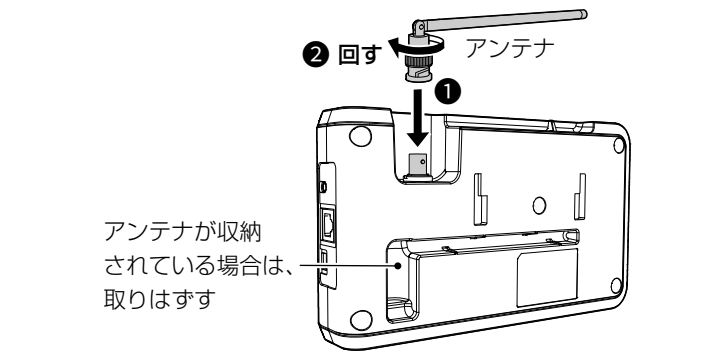
ショルダーストラップの取り付けかた

非常時の持ち出しに備え、ストラップ(付属品)を本製品に取り付けます。
下記の手順(①～⑦)で逆側も同様に取り付け、抜けないことを確認してください。



アンテナの取り付けかた

下図の手順(①、②)で付属のアンテナを本製品に取り付けてください。
※緊急時の持ち出しで屋外アンテナを取りはずしたときは、後面パネルに収納されたアンテナを接続してください。



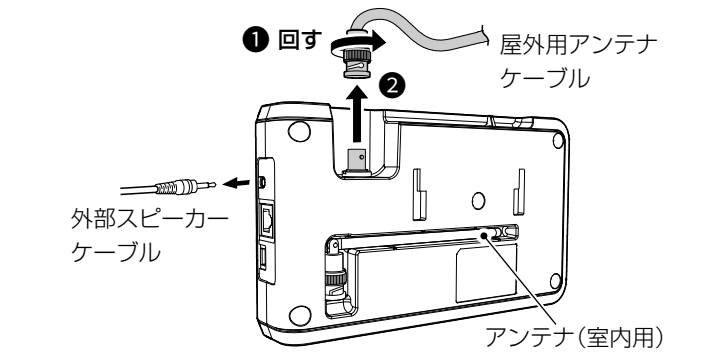
緊急時に壁からはずして持ち出すには

緊急時の持ち出しや電池交換のときなど、本製品を壁面から取りはずします。

1. 本製品に接続された電源プラグを「外部電源の接続」の説明とは逆の方向に引っ張って取りはずします。
 - ・音声ガイド(電源ケーブルが抜きました)が聞こえてAC電源ランプが消え、ライトが数分間点灯します。※アンテナを伸ばしている場合は、押し込んで縮めた状態にします。
2. 下図を参考に壁かけ用台座から本製品を取りはずします。
 - ※本製品を矢印(①)の向きに少し持ち上げて、矢印(②)の向きに引き出します。



3. 外部スピーカーや屋外アンテナが接続されている場合は、それらのケーブルも取りはずします。



4. 手順3で取りはずした屋外アンテナのコネクターには、「アンテナの取り付けかた」の説明を参考に付属のアンテナを接続します。
 - ※必要に応じて、付属の卓上用台座を「卓上用台座の使いかた」を参考に取り付けてください。
5. 壁面の台座に戻すときは、上記(1～4)と逆の手順で取り付けます。

乾電池交換のしかた

乾電池残量ランプが赤点滅したときは、新しい乾電池と入れ替えてください。
※乾電池残量ランプが赤点滅すると同時に、1回だけ音声ガイド(乾電池を交換してください)が聞こえ、音量の調整範囲にも制限がかかります。
また、IC-RDV60では、「乾電池を交換してください」が表示されます。

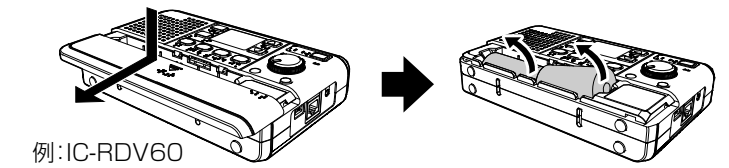
■ 交換前の準備

1. 新しい単1形アルカリ乾電池を2本用意します。
 - ※単1形アルカリ乾電池がない場合は、付属の乾電池変換アダプター(2個)と新しい単3形アルカリ乾電池(6本)を用意し、「単3形アルカリ乾電池を使うには」の説明を参考に交換してください。
2. 本製品に接続された電源プラグを「外部電源の接続」の説明とは逆の方向に引っ張って取りはずします。
 - ・「電源ケーブルが抜きました」と音声ガイドが流れてAC電源ランプが消え、ライトが3分間点灯します。※本製品を壁面に固定している場合は、「緊急時に壁からはずして持ち出すには」の説明を参考に取りはずしてください。

■ 交換のしかた

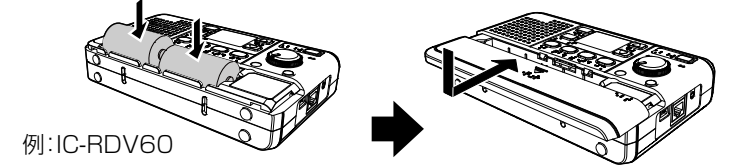
停電のときなどの非常用として、乾電池は必ず入れてご使用ください。

1. 電池カバーのマ印部分を押さえながら、手前にスライドさせて開きます。
2. 古い単1形乾電池(2個)、または付属の乾電池変換アダプター(2個)を内部のリボンを引っ張りながら、矢印の方向に持ち上げてはずします。
 - ※リボンを強く引っ張りすぎて、抜いてしまわないようにご注意ください。



例:IC-RDV60

3. 新しい単1形乾電池(2個)、または新しい単3形乾電池を装着した乾電池変換アダプター(2個)を+(プラス)、-(マイナス)の方向を確認して入れます。
4. 電池カバーをスライドさせて、電池ケース内のリボンを挟まないように閉じます。



例:IC-RDV60

単3形アルカリ乾電池を使うには

下図のように、市販の単3形アルカリ乾電池(6本)を乾電池変換アダプター(2個)に入れてから本製品に装着してください。

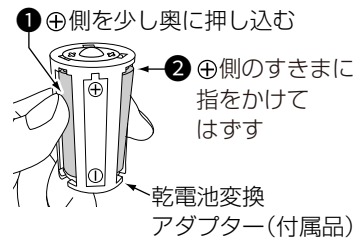
単3形乾電池を入れる



ご注意

- ◎本製品に付属の乾電池変換アダプターを使用してください。
 - 市販のものを使用すると、故障や破損の原因になることがあります。
- ◎単1形アルカリ乾電池使用時に比べて、運用時間が短くなります。

単3形乾電池をはずす



録音内容の消去について

最大30件まで録音され、電源プラグと乾電池をはずしても内容は消えません。

1. 放送の受信や再生をしていない(待ち受け)状態にします。
2. [解除]キーと[録音]キーを同時に押します。
 - ・[再生]キーを押しても再生されなければ、消去されています。

困ったときは

現象	原因	処置
音が小さい	[音量]ダイヤルを左に回し切っている	聞こえるまで、[音量]ダイヤルを右に回す
消音できない	音が完全に消せないように設計されているため	微小音量が消せない状態は正常です
音が出ない	緊急/防災放送されていない(待ち受け)、またはアンテナが接続されていない	アンテナが接続されているときは、テスト放送の時刻を確認する
AC電源ランプが点灯しない	ACアダプター、または電源プラグがはずれている	接続を確認し、はずれているときは接続する
AC電源ランプが緑点滅する	緊急/防災放送の受信電波状況が低下している	初期導入時に設置した場所に戻してみる
	アンテナの未接続や未調整	接続を確認し、緑点滅しない方向に調整する
乾電池残量ランプが点灯しない	電源プラグをはずして改善しないときは、乾電池が入っていないか消耗している	新しいアルカリ乾電池を入れる
乾電池残量ランプが赤点滅する	乾電池が消耗している	新しいアルカリ乾電池と交換する
乾電池残量ランプと録音ランプが赤点滅する	本製品に障害が発生している	お住まいの自治体に連絡する

乾電池の交換時期と処分などについて

電源プラグをはずして乾電池残量ランプが緑点灯している状態でも、1年に1回は、**新しいアルカリ乾電池(種類や製造元がすべて同じ)と交換してください。**

- ◎乾電池に記載されている注意事項と併せてお読みいただき、正しくご使用ください。
- ◎乾電池には、使用推奨期限が明記されています。
 - 未使用でも期限を過ぎた乾電池は使用しないでください。
- ◎使用条件や乾電池の種類(製造元など)によって、使用時間は異なります。
- ◎乾電池の特性により、低温の環境下では使用時間が短くなります。
- ◎不要になった乾電池は、一般のゴミといっしょに捨てないでください。
 - お住まいの市区町村の指示にしたがって処分してください。
- 自治体の条例などに記載がある場合は、その方法にしたがってください。

定格

受信周波数	IC-RDV60/IC-RDV60S 255.000～275.000MHz(防災行政無線) IC-RDV60 522～1620kHz(AM)、76.1～94.9MHz(FM)
使用温度範囲	－10～＋50℃
低周波出力	ACアダプター使用時:500mW以上(8Ω負荷、音量最大時) 乾電池使用時 :200mW以上(8Ω負荷、音量最大時) ※8Ω平衡出力
電源電圧	DC5V(BC-252(IC-RDV60)、BC-250(IC-RDV60S)) DC3V(単1形アルカリ乾電池2本)
消費電流	600mA以下(ACアダプター使用時、最大音量) ※IC-RDV60のラジオは、電源OFF
使用乾電池	単1形(2本)、または単3形(6本)のアルカリ乾電池
電池使用時間	単1形アルカリ乾電池(2本):30時間以上 単3形アルカリ乾電池(6本):24時間以上 【条件】受信5分、待ち受け55分の繰り返しで使用 ※IC-RDV60のラジオは、電源OFF
外形寸法	215(W)×125(H)×45(D)mm(突起物を除く)
重量	IC-RDV60 :約550g(付属品を除く) IC-RDV60S :約540g(付属品を除く)